

KOBEX

特許取得済製品 炭化水素系蒸留回収装置

CLEAN ACE 100 シリーズ



コーベックス株式会社

特長

- 弊社装置は納入台数国内外問わず2000台以上の実績!
- 安全性を重視される優良企業様にご愛顧頂いております。
- 日本製の為メンテナンス及び部品の手配もスムーズです。
- 防爆タイプは、日本の消防許可がとれる製品になっています。
- すべての機種は、気液接続部オールステンレス仕様の長寿命設計!
- お客様のご希望に合わせた特注仕様も可能です。別途ご相談ください。

- 蒸発器の加熱はヒートパイプ（特許）による熱伝播設計。
ヒートパイプ構造により熱源の作動液は半永久的に使用が可能です。
- 安全性に優れています。（生産物賠償責任保険付）
- 101は通産省外郭団体（財）クリーンジャパン会長賞受賞製品です。

安全性

爆発事故を防止する方法は、次の3要素のいずれかをなくすことです。

*可燃物 *酸素 *点火源

1. 装置系内に点火源のない機器の選択をしております。
2. 温度管理は2種類の独立したコントローラで2重安全構造です。
3. 蒸発部と加熱部は、完全に隔離された安心設計。
4. 蒸発部の加熱は、最新の技術を駆使したヒートパイプによる熱伝搬設計。
5. 蒸発器の圧力は外気に開放され、昇圧はほとんどありません。
6. 溶剤蒸発ガスが監視できるサイトグラスを採用。

蒸留回収装置システムについて

廃液の再利用、減容化における有効な手段は、蒸発、蒸留、濃縮等の分離技術が手法として求められていますが、塗料・塗装・印刷・インキ等の工場における洗浄溶剤は、固体成分の樹脂、顔料、染料を多く含み、溶剤の回収が極めて困難とされていました。

そこで開発されたのが CLEAN - ACE シリーズです。一般的に多い回分処理方式の装置は、ヒーターの直接加熱方式で安全性に欠けたり、オイルバス方式でオイルを換えないと安全性にリスクを生じたりとさまざまな問題点がありました。

しかし CLEAN - ACE シリーズは違います。ヒートパイプ構造にすることで、間接加熱であり熱媒体液の交換も不要で安全性の優れた装置になっています。

ヒートパイプ構造の原理

熱源をヒートパイプ構造にすることで、局部加熱がなく、加熱された作動液体は真空熱交換器内を音速で蒸発と凝縮を繰り返すので、効率の良い熱伝達が行われ、真空熱交換器内の液体の交換や追加も不要であるため、半永久的な使用が可能です。

回収システムについて

常圧タイプは、装置に廃液の入った一斗缶ごと装置にセットすれば、後は温度・時間を設定して運転ボタンを押すだけ。時間が経てば蒸留再生された液が出てきます。

真空タイプは装置にセットされた袋に廃液を投入して、後は温度・時間を設定して運転ボタンを押すだけ。時間が経てば蒸留再生された液が出てきます。さらに、真空は低温処理が出来る為、特に安全性に優れています。

適用溶剤例

シンナー・アルコール類・トルエン・キシレン・トリクレン・パークレン・塩化メチレン・アセトン・MEK・酢酸エチル etc.

その他ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

廃溶剤はユーザー様により多種多様です。装置御検討の際は、事前サンプルテストをご推奨いたします。（有償）

常圧蒸留回収装置

CLEAN-ACE 101

型 式	CA-101-A	CA-101-B	CA-101-C
処理方法	常圧蒸留方式 一斗缶処理・袋処理どちらも可能		
処理能力	15 ℓ / 回	15 ℓ / 回	18 ℓ / 回
処理時間	3～4 時間程度 注：廃液の状態により、処理時間は前後します。ご了承願います。		
機器仕様	1. 蒸発器 2. コンデンサ 3. 制御盤	1. 蒸発器 2. コンデンサ 3. 制御盤	1. 蒸発器 2. コンデンサ 3. 制御盤 4. オイルパン (キャスター付)
加熱方式	ヒートパイプ方式 ※ヒートパイプについては、左面ヒートパイプの構造原理をご確認ください。		
コンデンサ	シェル&チューブ ※逆流防止安全構造です。		
電 源	AC200V 1.6kw	AC200V 1.6kw	AC200V 2.0kw



CA-101-A

※ CLEAN-ACE102 (連続自動型) 処理能力:5 ℓ /Hr もあります。別途お問い合わせください。

CLEAN



CA-101-B



CA-101-C

※一斗缶処理は、廃溶剤の入った一斗缶ごと装置に投入して処理する方法です。但し廃溶剤により向き不向きがあります。

常圧蒸留回収装置

CLEAN-ACE 101-2D



CA-101-2D

型 式	CA-101-2D	
処理方法	常圧蒸留方式 一斗缶処理・袋処理どちらも可能	
処理能力	15 ℓ × 2 缶 / 回	
処理時間	3 ~ 4 時間程度 注：廃液の状態により、処理時間は前後します。 ご了承願います。	
機器仕様	1. 蒸発器 2. コンデンサ 3. 制御盤 4. オイルパン (キャスター付)	
加熱方式	ヒートパイプ方式 ※ヒートパイプについては、左面ヒートパイプの構造原理をご確認ください。	
コンデンサ	シエル & チューブ ※逆流防止安全構造です。	
電 源	AC200V 4.0kw	

CLEAN-ACE



CA-103V-C

真空蒸留回収装置

(高沸点溶剤対応)

型 式	CA-103V	CA-103V-C
処理方法	真空蒸留方式 袋処理	真空蒸留方式 袋処理
処理能力	15 ℓ / 回	18 ℓ / 回
処理時間	3 ~ 4 時間程度 注：廃液の状態により、処理時間は前後します。 ご了承願います。	
機器仕様	1. 蒸発器 2. 真空ユニット 3. 制御盤	1. 蒸発器 2. 真空ユニット 3. 制御盤 4. オイルパン (キャスター付)
加熱方式	ヒートパイプ方式 ※ヒートパイプについては、左面ヒートパイプの構造原理をご確認ください。	
コンデンサ	シエル & チューブ ※逆流防止安全構造です。	
電 源	AC200V 1.6kw	AC200V 2.0kw

CLEAN-ACE 103V 103V-C

「持続可能な循環型社会」の実現

現在、石油化学工業協会の調査では、石油化学工業における産業廃棄物の発生量は662万トンとされ、そのうち再利用される量は75万トンと全体の11%といわれています。

また、化学工業廃液を発生している企業は全国に数百社ありますが、ほとんどの廃液は焼却処分され、有効成分が再利用されているケースは極めて少なく、省資源の観点からも非常に残念なことです。

この現状を踏まえても、塗装、印刷、インキ工場における中規模廃溶剤の再資源、再利用化計画を各工場現場で操作することにより、廃棄物の減量化対策に経済的にも環境的にも貢献する蒸留回収システムが、持続可能な社会を形成する上で有効な効果をもたらすと確信しています。

主な納入先

アイシン精機株式会社
株式会社アーク
旭硝子株式会社
株式会社アトックス
アサヒコム株式会社
アラコ株式会社
アルプス電気株式会社
阿波製紙株式会社
AGC エレクトロニクス株式会社
永大産業株式会社
NTT 株式会社
オカモト株式会社
大倉工業株式会社
金井重要工業株式会社
株式会社カナオカ
川崎重工株式会社
木戸紙業株式会社
鬼怒川ゴム工業株式会社
キャノン化成株式会社
キャノンプレジジョン株式会社
長浜キャノン株式会社
キャノンコンポーネンツ株式会社
キングインベスト株式会社
キングパーツ株式会社
株式会社金陽社
株式会社クラブ
株式会社クレハ
呉羽化学工業株式会社
グンゼ株式会社
京阪電気鉄道株式会社
小島プレス工業株式会社
光生アルミ北海道株式会社
コニカ株式会社
コーンズドッドウエルコーディング株式会社
薩摩マツダ株式会社
三興電子株式会社
シーアイ化成株式会社
シチズンセイミツ株式会社
シバタ SESCO 株式会社
昭栄化学工業株式会社
シライ電子工業株式会社
株式会社シルバーロイ
清水グラビア印刷株式会社
シンジーテック株式会社
シンフォニアテクノロジー株式会社
神東塗料株式会社

新明和工業株式会社
住友ゴム工業株式会社
株式会社スミロン
スリーボンド化成株式会社
千住金属工業株式会社
株式会社ダイトー
ダイヤモンド電機株式会社
大和製罐株式会社
田中貴金属工業株式会社
タテヤマ静電株式会社
株式会社寺岡製作所
電子化工株式会社
株式会社土肥富
土居福助工業株式会社
東栄化成株式会社
株式会社東海理化電機製作所
東罐興業株式会社
第一化学株式会社
ダイハツディーゼル機器株式会社
ダイニツク株式会社
株式会社デンソー
東ソー株式会社
東美化学工業株式会社
東ブレ株式会社
東邦金属株式会社
東レ株式会社
東洋アルミニウム株式会社
東洋紡績株式会社
TCM 株式会社
トステム株式会社
長尾プライ株式会社
中沼アートスクリーン株式会社
南海電気鉄道株式会社
日産中部サービスセンター株式会社
日産阪神サービスセンター株式会社
株式会社日鐵マイクロメタル
日東電工株式会社
日東エレクトロニクス株式会社
日本カーバイド工業株式会社
日本特殊陶業株式会社
日本トレクス株式会社
日本精工株式会社
日本電子株式会社
日本山村硝子株式会社
ニチアス株式会社
ニッタ株式会社

日本パッケージング株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神電気鉄道株式会社
日立協和工業株式会社
株式会社日立製作所
日立メディコ株式会社
福助工業株式会社
株式会社フコク
富士特殊紙業株式会社
富士高分子株式会社
フジモリプラケミカル株式会社
フセラシ株式会社
古河電気工業株式会社
ポパール興業株式会社
パナソニック電工株式会社
パナソニックエレクトロニクデバイス株式会社
パナソニック溶接システム株式会社
北海製罐株式会社
株式会社北海道 LIXIL 製作所
HOYA 株式会社
株式会社丸工ム製作所
マルウ接着株式会社
三重硝子工業株式会社
美鈴印刷紙工株式会社
三菱重工業株式会社
三井金属鉱業株式会社
三井造船株式会社
三菱鉛筆株式会社
三ツ星ベルト株式会社
三菱化学株式会社
三菱電機株式会社
明治ゴム化成株式会社
メタコート工業株式会社
森下仁丹株式会社
ヤマハ株式会社
矢崎部品株式会社
ユニックス株式会社
ヨネックス株式会社
吉本工藝社株式会社
株式会社 J-オイルミルズ
リンテック株式会社
株式会社麗光
(敬称略)



KOBEX コーベックス株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町4丁目2番12
TEL (078) 303-2501 FAX (078) 303-2400
<http://www.kobex.co.jp>
E-mail: eigyoubu@kobex.co.jp